

# 第87回加東市議会定例会 請願第元一7号

紹介議員 北原 豊

## 『東条学園』の白紙撤回を求める請願書

請願者

郵便番号  
住 所  
氏 名  
電話番号

件 名 『東条学園』の白紙撤回を求める請願。  
趣 旨 昨年より地球環境は激変し集中豪雨、台風など自然災害はいつどこで起きて  
も不思議ではありません。東条地域におこらないとは決して言えません。東  
条学園が安全でないことは明らかです。

理 由

- 1 台風19号の被害状況を見ると、上流にダム2ヶ所をかかえ5階にプールもあり、  
また大川瀬ダムの支流の護岸工事がなされず放流されたさい木クズやゴミなどが流  
され洪水の危険がある。安全確保ができていながら市民の不安に答える義務がある。  
1回の説明会も開かず、推進あるのみの姿勢は傲慢というしかない。
- 2 50年来、国の地すべり防止区域であり、西2kmの地で地すべり発生、大グラウンド  
も地すべりが、いつ起っても不思議でない東条東小学校の保護者の「どうして危ない  
ところに学校を建てるの。」という疑問の声も聞かれる。
- 3 自然災害の多さから国も小さな川のハザードマップ作成法規制の厳格化を打ち出し  
ている。立地条件もない場合避難場所にはなりえない可能性も大。来年『東条学園』  
が建設できるかどうかは未定です。危険なところにいくら増額しようと危険度は変わ  
らない。
- 4 未来の子どもたちのために『東条学園』をつくることであるが、子どものことは  
いっさい配慮されず建設会社、設計会社の利益のために進められていることは明白で  
ある。
- 5 市が現在地に固執し続けた根本はただコスミックホールをなくしたい。その前段階と  
して外構工事で東条町制35周年記念のピラミッドを壊す計画。東条地区市民が「誇  
り」とした精神的支柱とも言えるピラミッドを1回の説明会も開かず強行しようと  
するのは、もはや行政とは言えず公権力の暴力である。主権は納税者にあることを市  
は全く認識していない。地元の合意がなければ本来施策は進められないのが原則であ  
る。市は過去5年にわたり、ことごとく地元の要望を無視し続けて、結果「な  
にを言っても変わらない、もうあきらめた。」と民主主義が消えつつある今の状況を  
もたらした。行政に大きな責任があります。
- 6 ピラミッドを壊すことは過去の東条町制51年間を否定することになり、そんな権限  
を市民は市長に託していません。
- 7 ~~調査の結果、今の東条中の校舎は安全であるうえ、~~合併特例債も延期され、当初の急  
ぐ理由もなくなり、まだ合併のご褒美である地方交付税が多い中でも30年度におい  
て基金を取り崩しているのに、また市の生産年齢人口が減り、税収も減る中、団塊の  
世代の医療費増加が予想される中、市の財政は夕張市一直線となるため。
- 8 文部科学省に問いあわせた結果、4-3-2制の小中一貫校で1校も成功した学校を把握  
していません。また姫路の小中一貫校は今年4月から6-3制から4-3-2制に変える予  
定でしたが、かなり不都合が生じるため変更していません。兵庫県ではじめて加東市  
が4-3-2制を導入するため、参考とする成功事例が兵庫県のみならず全国どこにもな  
いので成功する可能性が少ないため。

地方自治法第124条の規定により、上記のとおり請願書を提出しま

令和元年11月21日

加東市議会議員 小紫 泰良 様

請願書 陳情書	受付第 7 号
令和元年 11月 21日	
加東市議会事務局	